

阪南市埋蔵文化財報告 40

阪南市埋蔵文化財発掘調査概要XXIII

2007年
阪南市教育委員会

はしがき

阪南市は大阪府の南部に位置し、高度経済成長期以降、大阪市のベッドタウンとしての様相を顕著にしてきました。こうした背景を受け、バブル期までは埋蔵文化財包蔵地内における土木工事は年々増加傾向にあり、年間数十件の調査が行われてきました。バブル崩壊後は減少傾向にありましたが、この数年は再び増加傾向を見せてています。今年度も100件以上の届出があり、ピーク時にせまる勢いを見せています。こうした土木工事に伴う調査に対し、本市では、1985年以降国庫補助事業として、個人住宅等の建築に先だって緊急発掘調査を実施し、記録保存を行っています。

本書は、その国庫補助対象事業として行った発掘調査の報告です。いずれの調査につきましても、小規模な調査となっていますが、地域の歴史や文化財を理解するうえで、重要な調査となっています。

末筆にはなりましたが、調査に際し、土地所有者等の関係者の方々には、多大なる協力をいただき、ここに感謝いたします。また、今後とも本市の文化財保護行政にご尽力を賜りますようお願いいたします。

2007年3月

阪南市教育委員会
教育長 川村一郎



第1図 阪南市位置図

例　　言

1. 本書は阪南市教育委員会生涯学習推進課が平成18年度国庫補助事業として計画実施した阪南市埋蔵文化財発掘調査概要報告書である。
2. 調査は生涯学習推進課主幹三好義三、田中早苗、上野 仁及び横澤 慎を担当として実施した。
3. 本書内に示した標高はT. P. である。
4. 調査にあたっては土地所有者など、関係者各位の理解と協力を得た。ここに記して感謝の意を表したい。
5. 本書の執筆、編集は上記の調査担当者が行った。また、発掘調査、整理作業には以下の従事者があたった。
6. 本調査における記録は、実測図、写真、カラースライドなどに保存されている。当教育委員会にて保管しているので、広く活用されたい。

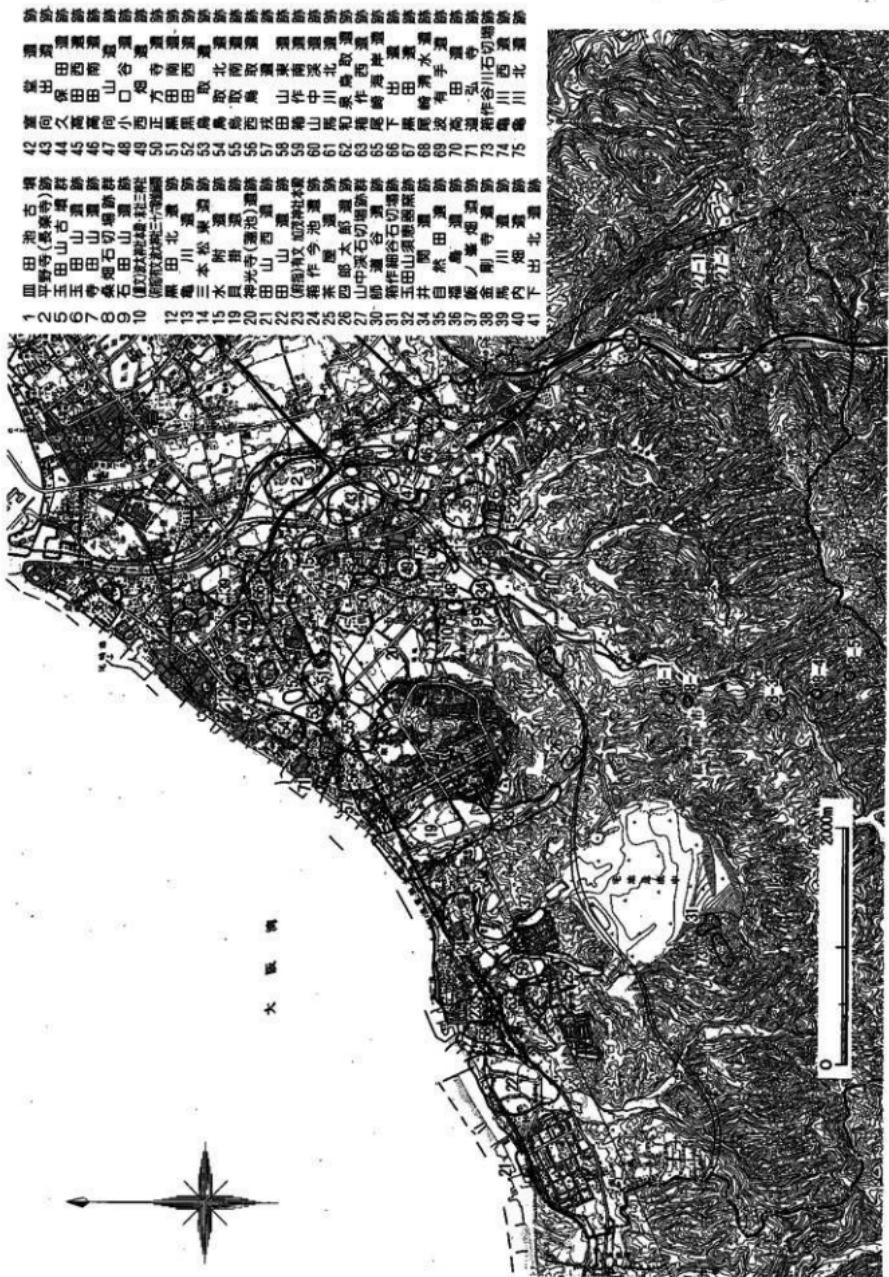
(調査従事者)

根無吉隆、南竹千代、大家 喬、和田旬世、井上祥子、井上 進、島田万帆

目 次

第1章 調査の成果

第1節	(1) 尾崎海岸遺跡	05-2区	1
第2節	(1) 馬川北遺跡	05-1区	3
第3節	(1) 西鳥取遺跡	05-1区	6
第4節	(1) 神光寺(蓮池)遺跡	05-15区	7
	(2) 神光寺(蓮池)遺跡	05-16区	8
	(3) 神光寺(蓮池)遺跡	06-1区	9
	(4) 神光寺(蓮池)遺跡	06-2区	10
	(5) 神光寺(蓮池)遺跡	06-3区	11
	(6) 神光寺(蓮池)遺跡	06-4区	12
	(7) 神光寺(蓮池)遺跡	06-5区	
	(8) 神光寺(蓮池)遺跡	06-6区	13
	(9) 神光寺(蓮池)遺跡	06-8区	14
	(10) 神光寺(蓮池)遺跡	06-9区	15
	(11) 神光寺(蓮池)遺跡	06-11区	16
第5節	(1) 自然田遺跡	06-5区	17
第6節	(1) 西畠遺跡	06-1区	18
第7節	(1) 貝掛遺跡	06-2区	19
	(2) 貝掛遺跡	06-3区	20
	(3) 貝掛遺跡	06-4区	21
第8節	(1) 箱作今池遺跡	06-1区	22
第9節	(1) 箱作西遺跡	06-1区	23
第10節	(1) 田山東遺跡	06-1区	24
第11節	(1) 田山遺跡	06-1区	25
	(2) 田山遺跡	06-2区	26
第2章 まとめ			28
報告書抄録			29



第2図 阪南市埋蔵文化財分布図

第1章 調査の成果

第1節 尾崎海岸遺跡

尾崎海岸遺跡は本市の北東部の海岸部に位置する。1990年度の発掘調査で弥生時代末期から古墳時代初期の製塩遺構が発見され、周知された。その後、周辺では小規模な調査が数件行われているが、近世期の町屋関係の遺構、遺物が検出されたのみである。

(1) 05-2区 (第3~6図)

a. 調査の概要

調査区は尾崎海岸遺跡の中央部に位置する。調査は $2.2\text{m} \times 1.4\text{m}$ のトレンチを設定し行なった。

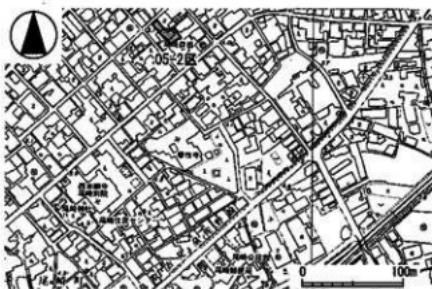
基本層序は第1層盛土、第2層茶灰色砂、第3層明茶灰色砂、第4層黄茶色砂の地山である。

遺構は落ち込みを1検出した。

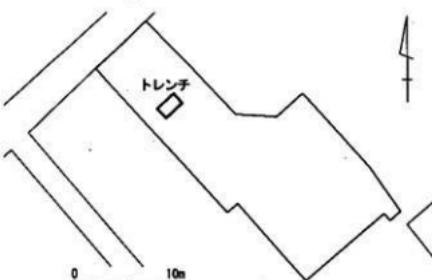
b. 遺構

—落ち込み—

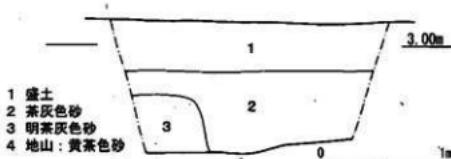
第3層上面で検出した。幅 1.34m 以上、深さ 0.45m を測り、埋土は第2層と同じである。遺物は土師質土器、陶器、磁器、近世瓦、古錢が出土した。近世期以降の遺構と思われる。1・2は土師質の炮烙、3・4は陶器で3は碗、4は皿。5~13は肥前系磁器で5・6は青磁で5は瓶、6は碗蓋。7~11は碗で、12・13は皿。14は新寛永通宝である。



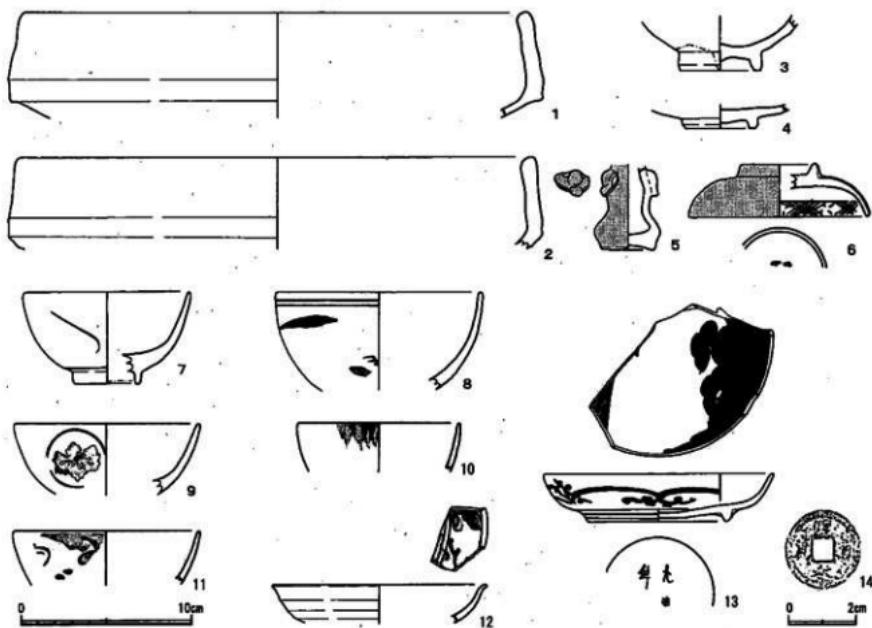
第3図 尾崎海岸遺跡調査区位置図



第4図 尾崎海岸遺跡05-2区 トレンチ位置図



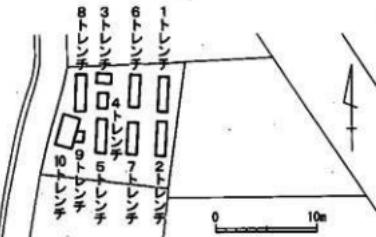
第5図 尾崎海岸遺跡05-2区 トレンチ南側断面図



第6図 尾崎海岸遺跡05-2区 出土遺物



第7図 馬川北遺跡調査区位置図



第8図 馬川北遺跡05-1区 トレンチ位置図

第2節 馬川北遺跡

馬川北遺跡は本市の東部を流れる男里川左岸の段丘下に位置する。1989年度の発掘調査で発見、周知された遺跡である。既往の調査では縄文時代晩期の土器が流路などから出土した。

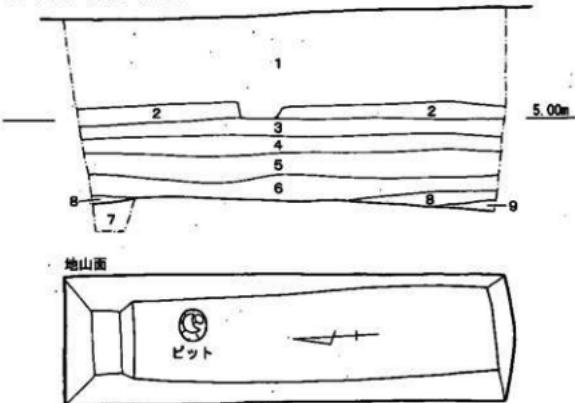
(1) 05-1区 (第7~10図)

a. 調査の概要

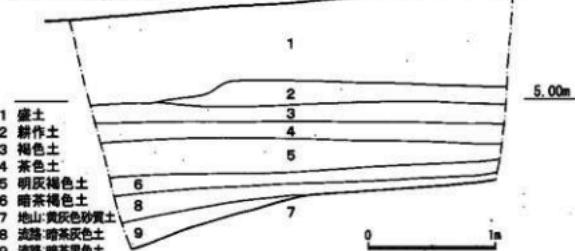
調査区は馬川北遺跡のはば中央部に位置する。調査は対象地内に幅1.0mで、長さ1.5m~3.5mのトレンチを9ヶ所、3.0m×1.7mのトレンチを1ヶ所設定し実施した。

盛土、耕作土以下の基本層序は第3層褐色土、第4層茶色土、第5層明灰褐色土、第6層暗茶褐色土、第7層黄灰色砂質土の地山である。第4~6層は中世期の遺物包含層である。1は東播系須恵質の捏鉢。2は白磁の皿でいずれも第3層から出土した。3・4は白磁の皿、5は土師質小皿、6は土師質有溝土錐で、第4層から出土した。7~9は須恵器で7・8は杯蓋、9は杯身、10~17は瓦器で、

1 トレンチ 平面図・断面図



8 トレンチ 西側断面図



第9図 馬川北遺跡05-1区 トレンチ平面図・断面図

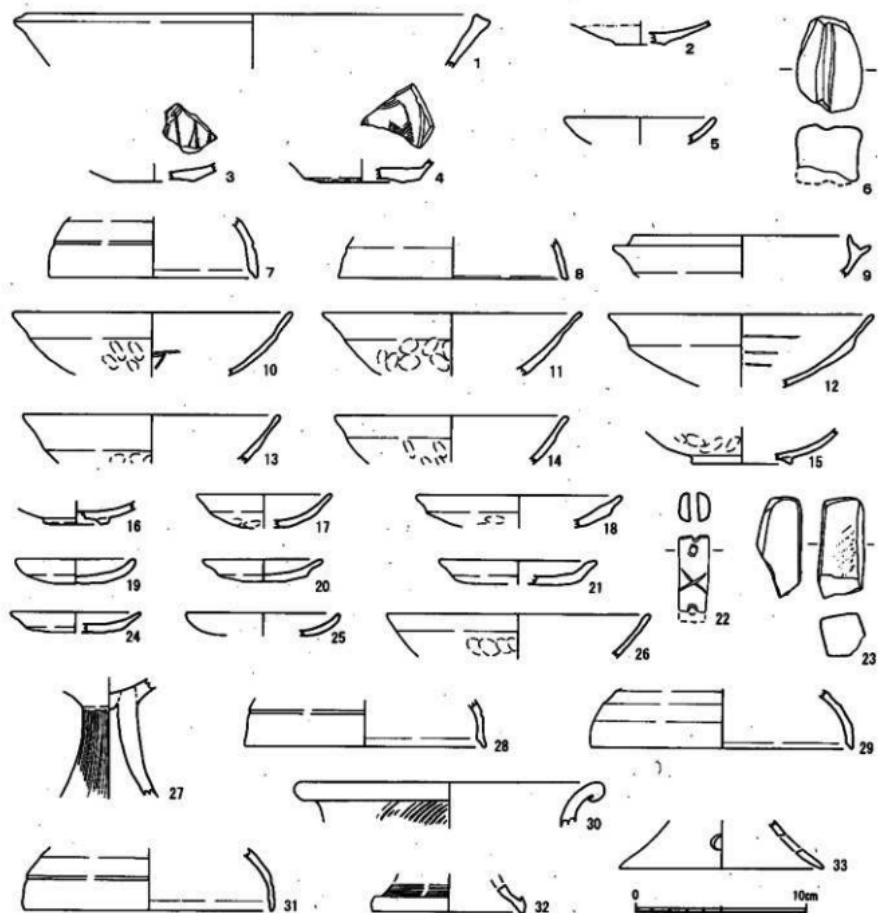
10~16は椀、17は小皿、18~21は土師質の皿で、18はいわゆる白土器である。22は土師質有孔土錐で、ヘラ記号がある。23は砥石である。以上は第5層から出土した。24・25は土師質小皿、26は瓦器椀で、第6層から出土した。

遺構はピットを1基検出した。また、第8層暗茶灰色土、第9層暗茶黒色土は付近で行われた既往の調査から流路の埋土である。

b. 遺構

—ピット—

1 トレンチの地山面で検出した。直径0.22m、深さ0.19mを測る。埋土は第6層と同じである。遺物は出土しなかったが、埋土から中世期の遺構と思われる。



第10図 馬川北遺跡05-1区 出土遺物

—流路—

調査区の北側に配した1・6・8トレーナーの中央部から南側で、第8層暗茶灰色土、第9層暗茶黒色土が南方向に向かって落ち込むような堆積が見られ、調査区南側に配した2・5・7・9・10トレーナーでは、全体的に第8・9層が堆積していた。このことから1・6・8トレーナーの中央部から南方向に落ち込む流路の存在が想定される。

27は弥生土器の高壙。28~30は須恵器で28・29は壺蓋、30は壺で、第8層から出土した。31は須恵器壺蓋、32は須恵器高壙で、第9層から出土した。33は弥生土器の高壙で、10トレーナーの第9層直下の暗灰色粘質土から出土した。

第3節 西鳥取遺跡

西鳥取遺跡は1988年度に本市が行なった埋蔵文化財分布調査により発見、周知された遺跡である。過去に行なわれた調査は全て小規模なものばかりで、中世～近世期の遺物は出土しているものの、遺跡の性格は不明である。

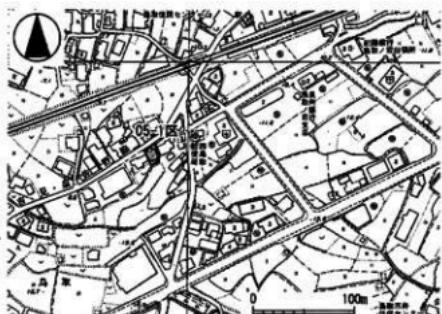
(1) 05-1区 (第11・12図)

a. 調査の概要

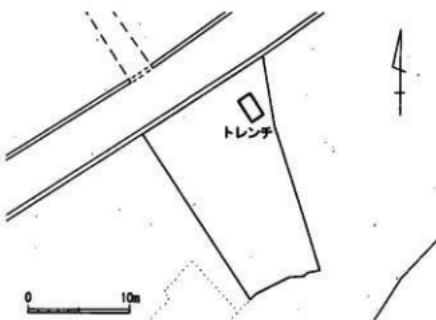
調査区は西鳥取遺跡の中央部に位置する。隣接地の既往の調査では、中世期の遺構、遺物などを検出している。

調査は調査区内に2.5m×1.4mのトレンチを設定し実施した。

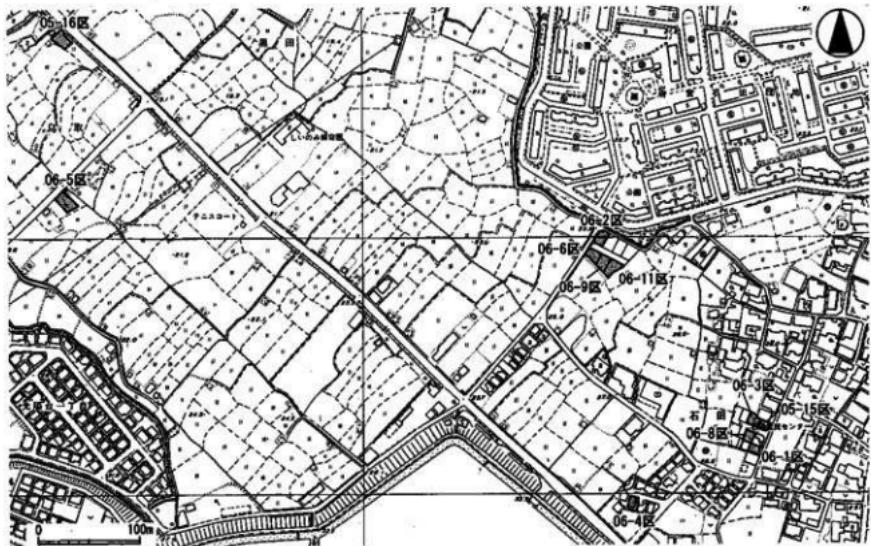
基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層明黄灰色粘土の地山である。今回の調査地は既に削平を受けており、遺構、遺物ともに検出されなかった。



第11図 西鳥取遺跡調査区位置図



第12図 西鳥取遺跡05-1区 トレンチ位置図



第13図 神光寺(蓮池)遺跡調査区位置図

第4節 神光寺(蓮池)遺跡

神光寺(蓮池)遺跡は縄文時代から近世期にかけての複合遺跡である。主なものとして、蓮池の底から縄文時代草創期の有茎尖頭器が採集された。

(1) 05-15区 (第13~16図)

a. 調査の概要

調査区は神光寺(蓮池)遺跡の南東部に位置する。本調査区の隣接地における既往の調査では、中世期の井戸などの遺構及び遺物、近世期の流路などが確認された。また、後述する06-1区・3区・8区に接する。

調査は調査区内に2.5m × 1.3mのトレンチを設定し実施した。

盛土、耕作土以下の基本層序は第3層淡黄色土、第



第14図 神光寺(蓮池)遺跡05-15区・06-1区・06-3区・06-8区 トレンチ位置図

4層黄茶色礫混土の地山である。遺物は第3層から土師質土器、瓦器、瓦質土器、陶器、磁器、瓦などが出土した。1は均整唐草紋軒平瓦の中心飾りで、中世期のものと思われる。2・3は土師質小皿。4・5は土師質の管状土錐。6は陶器の皿、7は青磁碗である。

遺構は土坑を1基、流路を1条検出した。

b. 遺構

—土坑—

第4層上面で検出したが、第3層上面からの掘り込みが断面により確認された。短径0.58m、長径0.48m以上、深さ0.32mを測る。埋土は黄茶色土で中世瓦が出土したが、近世層で切り込んでいるため、近世期もしくはそれ以降の遺構である。

—流路—

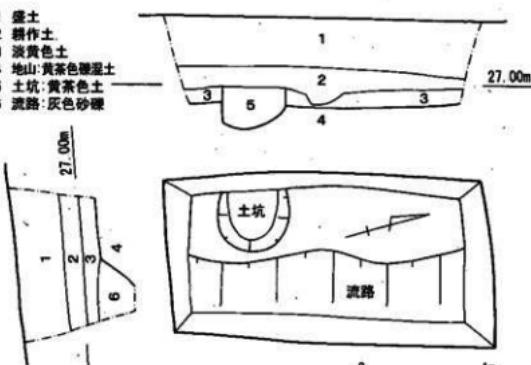
前述した既往の調査で確認されている流路と同じである。調査区内を南北方向に流れている。既往の調査では検出面からの深さは約1.20mであったが、今回の調査ではその肩口部分のみが検出されたため、深さは約0.30mである。埋土は灰色砂礫で、遺物は陶器、磁器をはじめ土師質土器、瓦器、瓦質土器、瓦などが出土した。8は肥前系磁器の皿、9は土師質の管状土錐である。

(2) 05-16区 (第13・17~19図)

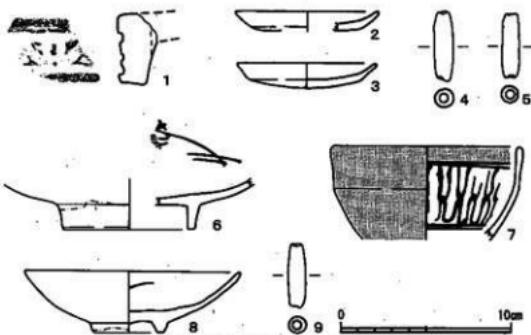
a. 調査の概要

調査区は神光寺(蓮池)遺跡の北部に位置する。調査は建物基礎部8ヶ所にトレンチを設定し行なった。

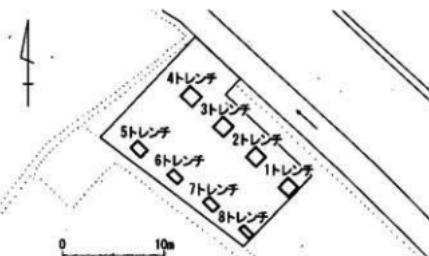
基本層序は第1層盛土、第2層暗褐色土、第3層淡茶灰色土、第4層マンガン混じりの淡灰色土、地山は淡橙灰色風化礫混砂質



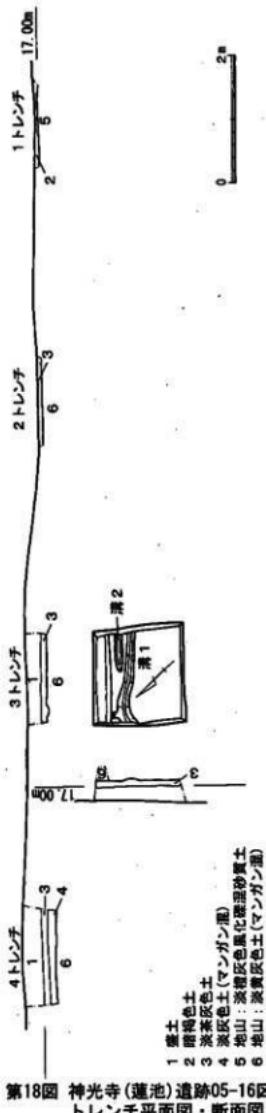
第15図 神光寺(蓮池)遺跡05-15区 トレンチ平面図・断面図



第16図 神光寺(蓮池)遺跡05-15区 出土遺物



第17図 神光寺(蓮池)遺跡05-16区 トレンチ位置図



第18図 神光寺(蓮池)遺跡05-16区
トレンチ平面図・断面図

土とマンガン混じりの淡黄灰色土であるが、第3・4層は南側の1トレンチと8トレンチでは検出されていないため、調査区の中央部から北側は落ち込みの可能性が考えられる。遺物は第2層から須恵器、サヌカイト、第3層から須恵器、土師質土器、瓦器、土師質蛸壺が出土した。1はサヌカイト製のスクレイパーで、1トレンチの第2層から、2~4は瓦器碗で、2・3は4トレンチ、4は3トレンチのそれぞれ第3層から出土した。

遺構は3トレンチの地山面で溝を2条検出した。

b. 遺構

一溝1-

長さ1.40m以上、幅0.14m、深さ0.03mを測る鋤溝である。埋土は第4層と同じで、遺物は出土しなかった。

一溝2-

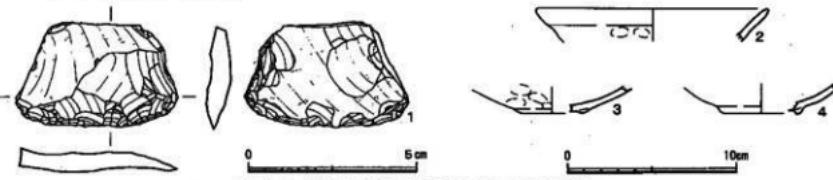
長さ0.60m以上、幅0.10m、深さ0.01mを測る鋤溝である。埋土は第4層と同じで、遺物は出土しなかった。

a. 調査の概要

調査区は神光寺(蓮池)遺跡の南東部に位置する。調査は調査区内に2.4m×1.1mのトレンチを設定し行なった。

基本層序は第1層盛土、第2層淡黄色土、第3層淡黄茶灰色土、第4層暗茶灰色土、第5層濃灰色礫混粘土質土、第6層黄茶灰色粘土の地山である。遺物は第2層から土師質土器、陶器、近世瓦、第3・4層から土師質土器、瓦器、瓦質土器、中世瓦、近世瓦、第6層から土師質土器、瓦器が出土した。1は陶器擂鉢の口縁部で第2層から出土した。2~4は瓦器碗で、2・3は第3・4層、4は第5層から出土した。

遺構は隣接する05-10区の調査で確認された中世期の石垣の続きを検出した。

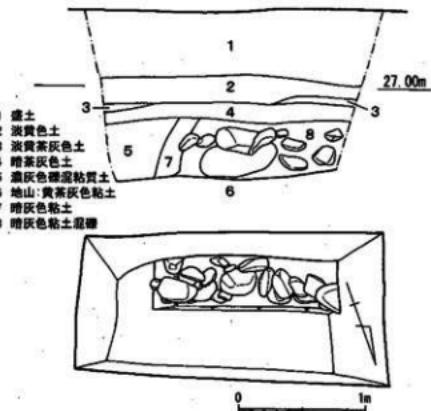


第19図 神光寺(蓮池)遺跡05-16区 出土遺物

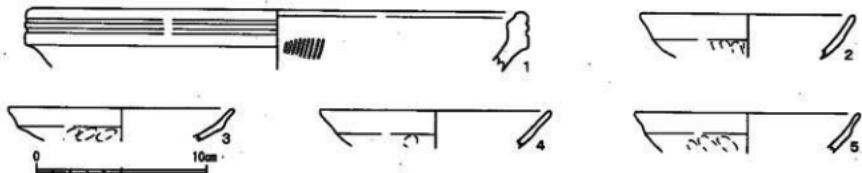
b. 遺構

一石垣—

石垣は東側に面を向けて構築されており、残存高0.46mである。北半部は搅乱を受けている。地山面に暗灰色粘土、暗灰色粘土混礫で基礎を築き、石を積んだと思われるが、石積はほとんど残っていない。5は瓦器楕で石垣の構築土である暗灰色粘土混礫から出土した。



第20図 神光寺(蓮池)遺跡06-1区 トレンチ平面図・断面図



第21図 神光寺(蓮池)遺跡06-1区 出土遺物

(4) 06-2区

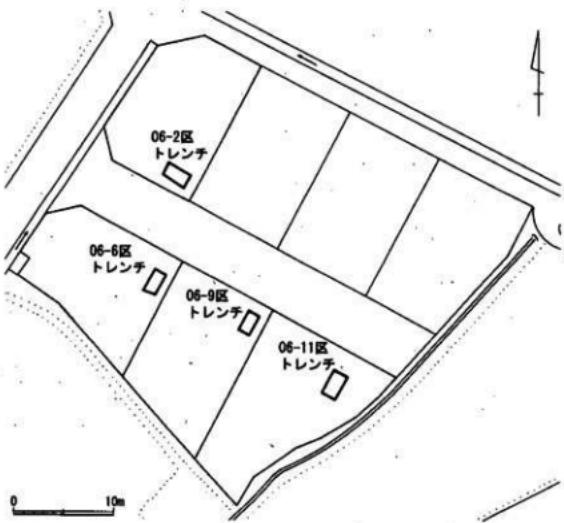
(第13・22~24図)

a. 調査の概要

調査区は神光寺(蓮池)遺跡の北東部に位置する。既往の調査では、本調査区の隣接地で中世期の溝が確認されており、当該時期の遺物が出土している。

調査は対象地内の南隅に2.5m×1.6mのトレンチを設定し実施した。

盛土、耕作土以下の基本層序は第3層淡青灰色粘質土、第4層淡黄青灰色粘質土、第



第22図 神光寺(蓮池)遺跡06-2区・06-6区・06-9区・06-11区 トレンチ位置図

5層マンガン混じりの淡灰茶黒色礫混粘質土、第6層黄茶色粘質土の地山である。第3層から土師質土器、瓦器が、第4層からは黒色土器、土師質土器が出土した。

遺構は第3層上面で暗渠を1条、地山面でピットを1基検出した。

b. 遺構

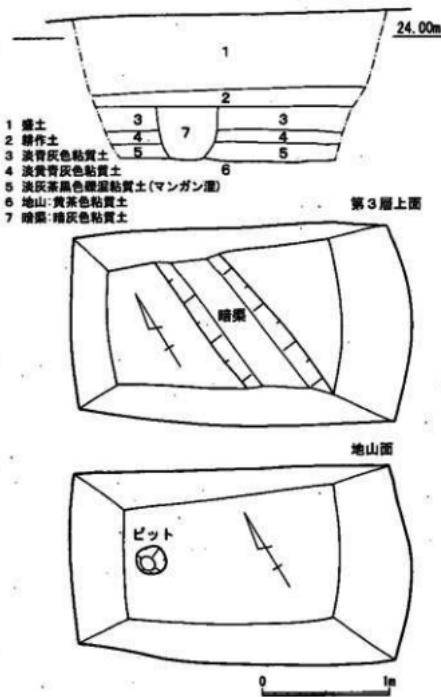
—ピット—

地山面で検出した。直径0.22m、深さ0.15mを測り、埋土は第5層と同じである。

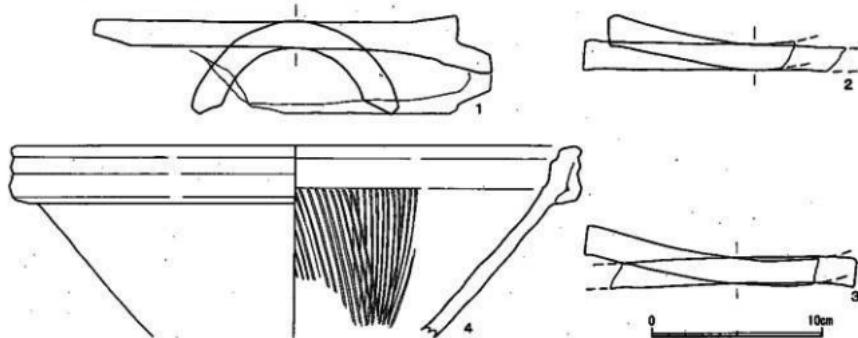
遺物は出土しなかった。

—暗渠—

第3層上面で検出した。長さ1.20m以上、幅0.54m、深さ0.42mで、南北方向に伸びる。埋土は暗灰色粘質土である。遺物は中・近世期の陶器と瓦が出土した。図化できたのは下記の4点である。1は丸瓦、2・3は平瓦で、いずれも中世期のものである。4は陶器で、いわゆる堺播鉢である。



第23図 神光寺(蓮池)遺跡06-2区 トレンチ平面図・断面図



第24図 神光寺(蓮池)遺跡06-2区 出土遺物

(5) 06-3区 (第13・14・25・26図)

a. 調査の概要

調査区は神光寺(蓮池)遺跡の南東部に位置する。調査は調査区内に2.2m×1.3mのトレンチを設置し行なった。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡黄色土、第4層黄茶色礫混土の地山で

ある。遺物は第3層から土師質土器、瓦器、瓦が出土した。1は瓦器碗で、第3層から出土した。

遺構は検出されなかった。

(6) 06-4区 (第13・27・28図)

a. 調査の概要

調査区は神光寺(蓮池)遺跡の南東部に位置する。調査は調査区内に $2.2\text{m} \times 1.4\text{m}$ のトレンチを設置し行なった。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層黄灰色土、第4層黄色粘質土の地山である。遺物は第3層から土師質土器が出土した。

遺構は土坑を1基検出した。

b. 遺構

—土坑—

トレンチ西側の地山面で検出した。長径 0.70m 以上、短径 0.40m 以上、深さ 0.22m を測り、埋土は濃茶灰色粘質土である。

遺物は出土しなかった。

(7) 06-5区 (第13・29~31図)

a. 調査の概要

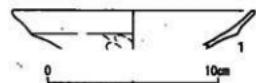
調査区は神光寺(蓮池)遺跡の北部に位置する。本調査区の周辺における既往の発掘調査では、中世期までの遺物が出土している。調査は対象地内の北端部に $2.4\text{m} \times 1.5\text{m}$ のトレンチを1ヶ所設定して実施した。

耕作土以下の基本層序は第2層褐色土、第3層黄茶色土、第4層明灰色土、第5層明茶褐色土、第6層暗灰色土、第7層黄褐色土の地山である。第3層から陶器、第4・5層からは須恵器、土師質土器、瓦器などが出土した。第3層は近世期、第4・5層は中世期の遺物包含層と想定される。1は第3層から出土した天目茶碗、2は第4層から出土した須恵器壺身である。

遺構は検出されなかった。



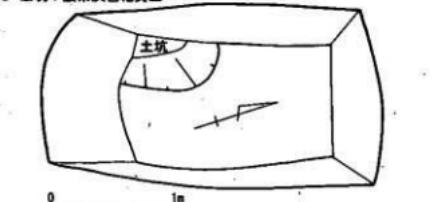
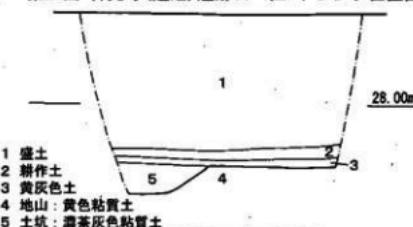
第25図 神光寺(蓮池)遺跡06-3区 トレンチ東側断面図



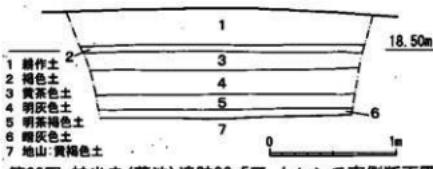
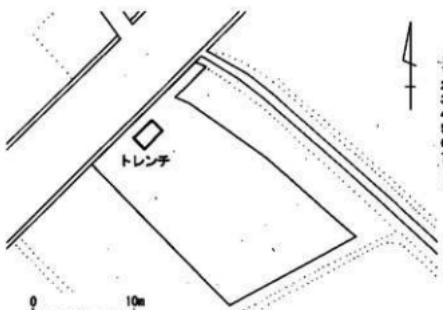
第26図 神光寺(蓮池)遺跡06-3区 出土遺物



第27図 神光寺(蓮池)遺跡06-4区 トレンチ位置図



第28図 神光寺(蓮池)遺跡06-4区 トレンチ平面図・断面図



第29図 神光寺(蓮池)遺跡06-5区 トレンチ位置図

(8) 06-6区

(第13・22・32・33図)

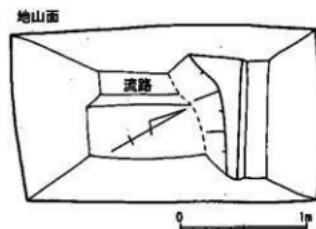
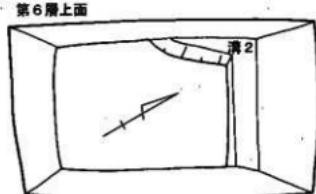
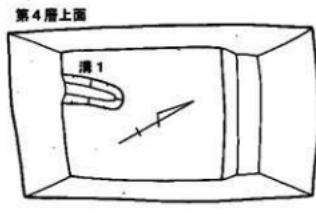
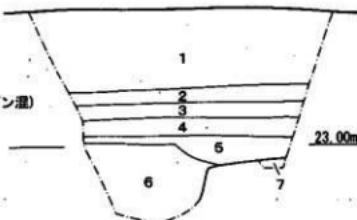
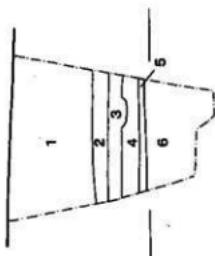
調査区は神光寺(蓮池)遺跡の北東部に位置する。調査区内に2.4m×1.3mのトレンチを設定した。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡青灰色粘質土、第4層淡黄青灰色粘質土、第5層淡黄茶灰色粘質土、第6層マンガン混じりの淡灰茶黒色礫混粘質土、第7層黄茶色粘質土の地山である。遺物は第3層から黒色土器、土師質土器、青磁、製塩土器、第4層から須恵器、土師質土器、瓦器が出土した。1は青磁の雷文帶碗である。14世紀後半から15世紀前半に比定できよう。第3層より出土した。2は土師質土器の皿で、いわゆる白土器である。第4層から出土した。

b. 遺構

一溝1—

- 1 盛土
- 2 耕作土
- 3 淡青灰色粘質土
- 4 淡黄青灰色粘質土
- 5 淡黄茶灰色粘質土
- 6 淡灰茶黒色礫混粘質土(マンガン混)
- 7 地山: 黄茶色粘質土



トレンチ南側の第4層上

面で検出した、いわゆる鋤溝と思われる。長さ0.50m以上、幅0.24m、深さ0.05mを測る。埋土は第3層と同じで、土師質土器、瓦器が出土した。

一溝2-

トレンチ北西部の第6層上面で検出した。長さ0.85m以上、深さ0.18mを測る。埋土は第5層と同じで、土師質土器が出土した。中世期の遺構であろう。

一流路1-

地山面で検出した。埋土は第6層と同じで、遺物は出土しなかった。時期は中世期以前と考えられるが、詳細は不明である。

(9) 06-8区 (第13・14・34・35図)

a. 調査の概要

調査区は神光寺(蓮池)遺跡の南東部にあたり、05-15区の南西、06-3区の南に位置する。調査区内に2.5m×1.6mのトレンチを設定した。調査面積は4.0m²である。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡黄色土、第4層黄茶色礫混土の地山である。このうち第3層はトレンチの西側のみに認められる。遺物は第3層から土師質土器、瓦器、スサ入焼土塊が出土した。05-15区では、第3層より近世遺物が出土しており、第3層は近世期の包含層と判断できる。1は第3層出土の瓦器碗の底部である。断面逆台形の高台を貼り付け、見込みに暗文を施す。13世紀中頃に比定できる。

遺構は第3層上面と地山面でそれぞれピットを1基検出した。

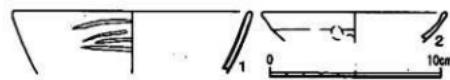
b. 遺構

-ピット1-

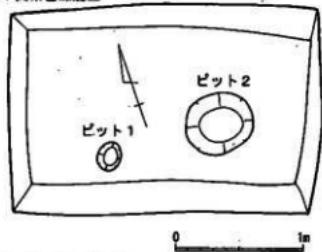
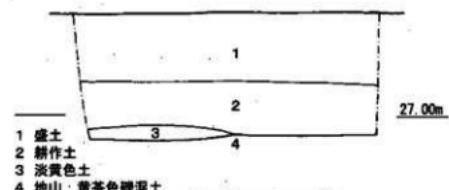
第3層上面で検出した。平面は円形を呈し、直径0.23m、深さ0.03mを測る。埋土は焼土や炭を含む淡灰茶色粘質土で、遺物はスサ入焼土塊が出土した。第3層を掘り込むことから、年代は近世期以降であるが、その詳細は明らかにできない。

-ピット2-

地山面で検出した。平面円形を呈し、直径0.54m、深さ0.07mを測る。埋土は第3層と同じで、遺物は土師質土器、スサ入焼土塊が出土した。近世期の遺構である。



第33図 神光寺(蓮池)遺跡06-6区 出土遺物



第34図 神光寺(蓮池)遺跡06-8区 トレンチ平面図・断面図



第35図 神光寺(蓮池)遺跡
06-8区 出土遺物

(10) 06-9区

(第13・22・36・37図)

a. 調査の概要

調査区は神光寺(蓮池)遺跡の北東部に位置し、06-6区の東隣にある。調査区内に2.2m×1.2mのトレンチを設定した。調査面積は2.64m²である。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡青灰色粘質土、第4層淡黄青灰色粘質土、第5層淡黄茶灰色粘質土、第6層マンガン混じりの淡灰茶黒色礫混粘質土、第7層黄茶色粘質土の地山である。遺物は第3・4層からそれぞれ土師質土器、瓦器、第5層から須恵器、土師質土器、瓦器が出土した。遺物から第3～5層は中世期の包含層と判断できる。第6層以下は中世期以前であるが、その時期は明らかにできない。1・2は土師質土器皿で、いわゆる白土器である。口縁部外面をヨコナデし、体部は指才サエ痕が残る。1は第4層、2は第5層から出土した。ともに中世期の遺物である。

遺構は溝を3条検出した。

b. 遺構

-溝1-

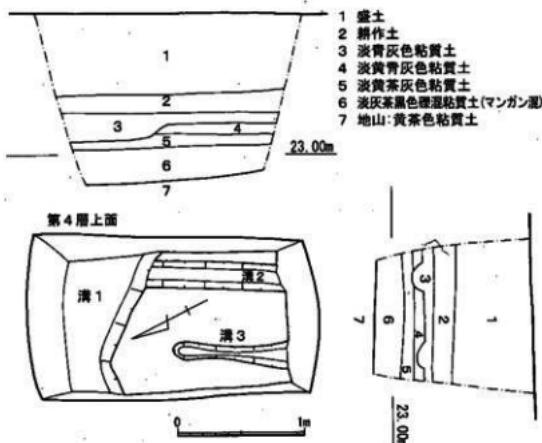
第4層上面で検出した。トレンチに対し斜行し、北西隅付近で西に折れる。長さ1.15m以上、幅0.76m以上、深さ約0.15mを測る。埋土は第3層と同じで、土師質土器、瓦器が出土した。中世期に属すると考えられる。

-溝2-

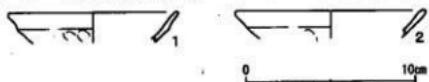
第4層上面で検出した。長さ1.08m以上、幅0.22m、深さ約0.08mを測る。浅い掘り込みで、いわゆる鋤溝である。埋土は第3層と同じで、瓦質土器が出土した。中世期に属すると考えられる。

-溝3-

第4層上面で検出した。長さ0.90m以上、幅0.20m、深さ約0.06mを測る。浅い掘り込みで、いわゆる鋤溝である。埋土は第3層と同じで、土師質土器が出土した。中世期に属すると考えられる。



第36図 神光寺(蓮池)遺跡06-9区 トレンチ平面図・断面図



第37図 神光寺(蓮池)遺跡06-9区 出土遺物

第4層上面で検出した。トレンチに対し斜行し、北西隅付近で西に折れる。長さ1.15m以上、幅0.76m以上、深さ約0.15mを測る。埋土は第3層と同じで、土師質土器、瓦器が出土した。中世期に属すると考えられる。

第4層上面で検出した。長さ1.08m以上、幅0.22m、深さ約0.08mを測る。浅い掘り込みで、いわゆる鋤溝である。埋土は第3層と同じで、瓦質土器が出土した。中世期に属すると考えられる。

第4層上面で検出した。長さ0.90m以上、幅0.20m、深さ約0.06mを測る。浅い掘り込みで、いわゆる鋤溝である。埋土は第3層と同じで、土師質土器が出土した。中世期に属すると考えられる。

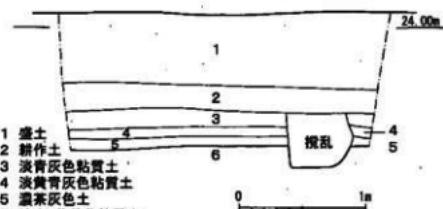
(12) 06-11区 (第13・22・38図)

a. 調査の概要

調査区は神光寺(蓮池)遺跡の北東部に位置する。調査は調査区内に2.6m×1.5mのトレンチを設置し行なった。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡青灰色粘質土、第4層淡黄青灰色粘質土、第5層濃茶灰色土、第6層黄茶色粘質土の地山である。

遺構は検出されず、遺物は第3層から須恵器、瓦器、土師質土器、瓦質土器、中世瓦、第4層から土師質土器が出土した。



第38図 神光寺(蓮池)遺跡06-11区 トレンチ東側断面図



第39図 自然田遺跡調査区位置図



第40図 自然田遺跡06-5区 トレンチ位置図

第5節 自然田遺跡

1986年に民間の宅地造成工事に伴う事前の試掘調査により確認された遺跡である。旧石器時代から近世期にかけての遺物が出土するが、遺跡の詳細は不明である。

(1) 06-5区 (第39~41図)

a. 調査の概要

調査区は自然田遺跡の西端部に位置する。調査は調査区内に $10.6\text{m} \times 2.8\text{m}$ の1トレンチ、 $16.0\text{m} \times 5.0\text{m}$ の2トレンチを設定し行なった。

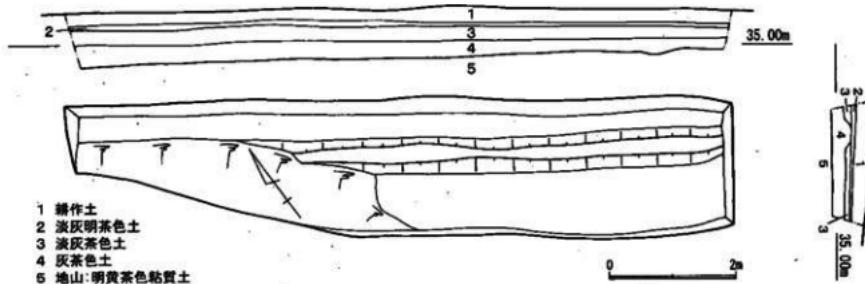
1トレンチの基本層序は第1層耕作土、第2層淡灰明茶色土、第3層淡灰茶色土、第4層灰茶色土、第5層明黄茶色粘質土の地山である。遺物は第4層から須恵器、土師質土器、瓦質土器、青磁、鉄釘が出土したが、近隣の調査から近世期の包含層である。2トレンチは1トレンチと同様の層序であるが、西側の一部に段丘を埋めた痕跡がみられた。遺物は出土していないが、近隣の調査から近世期と推定できる。

1トレンチで畦状の遺構を検出した。

b. 遺構

—畦状遺構—

長さ7.50m以上、幅0.60mで、第4層が畦状になっている。埋土は第3層である。畦畔の可能性が考えられる。遺物は出土していないが、近世期の遺構である。



第41図 自然田遺跡06-5区 1トレンチ平面図・断面図

第6節 西畠遺跡

西畠遺跡は1987年度に本市が実施した埋蔵文化財分布調査によって発見、周知された遺跡である。その際にサヌカイト、チャート、土師質土器、陶器、磁器、瓦などを採集しているが、これまでに小規模な発掘調査を1度実施しただけで、遺跡の年代や性格などの詳細は不明である。

(1) 06-1区 (第42~44図)

a. 調査の概要

調査区は西畠遺跡の南部にあたり、調査区周辺の地形は南西が高く、北東に向かってなだらかに傾斜する。

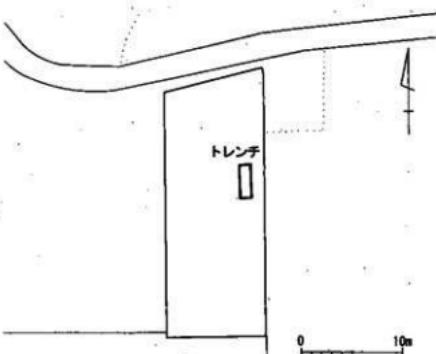
調査は調査区内に3.5m×1.2mのトレーニチを設定した。調査面積は4.2m²である。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層暗橙灰白色土、第4層淡茶灰色礫混土、第5層淡茶黄色礫混土である。層厚は第1~4層が約0.1~0.2mであるのに対し、第5層は0.4m以上掘削したが変化がみられなかった。周辺調査区の土層と層厚、そして遺物が認められない点から、第5層は地山と判断した。

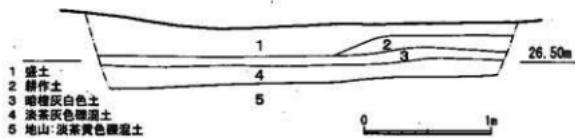
調査の結果、遺構、遺物ともに認められなかった。



第42図 西畠遺跡調査区位置図



第43図 西畠遺跡06-1区 トレーニチ位置図



第44図 西畠遺跡06-1区 トレーニチ西側断面図

第7節 貝掛遺跡

貝掛遺跡は縄文時代から近世期までの複合遺跡である。1989年度の発掘調査では、大形柱穴を含む建物群と奈良三彩の八曲長壙などを検出した。また、南に隣接する調査地では古墳時代の製塩土器が出土した。

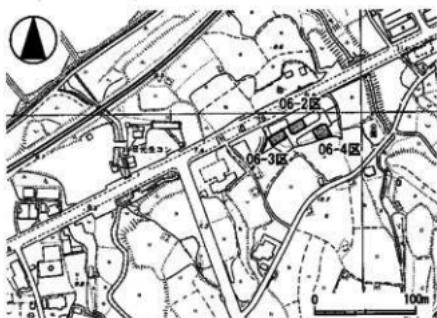
(1) 06-2区 (第45~48図)

a. 調査の概要

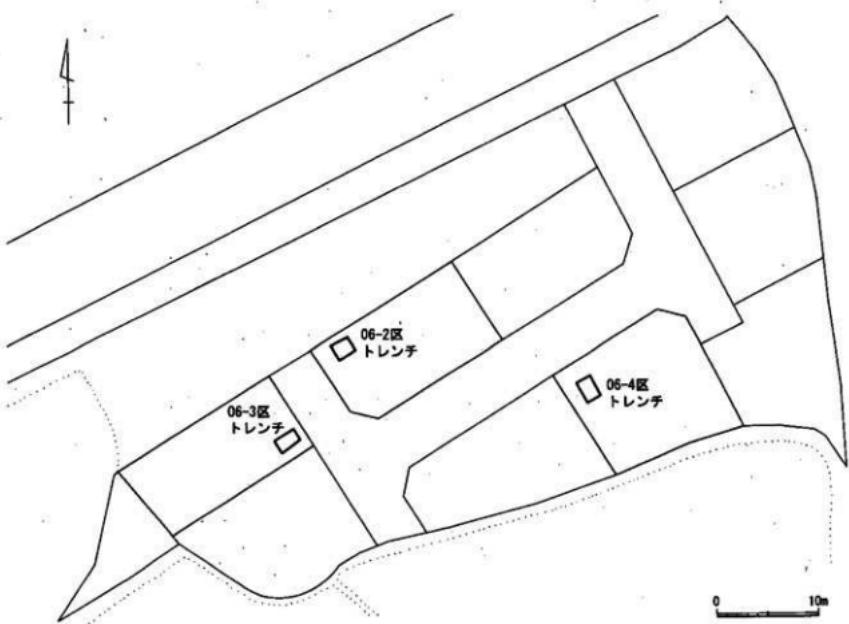
調査区は貝掛遺跡の北部に位置する。調査区内に $2.0\text{m} \times 1.6\text{m}$ のトレンチを設定した。調査面積は 3.2m^2 である。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡灰色土、第4層暗橙色土、第5層淡灰茶色土、第6層暗黃灰色土、第7層マンガン・灰色土混じりの淡褐黃色土の地山である。遺物は第4層から須恵器、土師質土器、第5層から須恵器、土師質土器、瓦器、第6層から須恵器、瓦器が出土した。1は第5層より出土した須恵器壙身である。器形から奈良時代に属するものと考えられる。

遺構は溝を1条検出した。



第45図 貝掛遺跡調査区位置図



第46図 貝掛遺跡 トレンチ位置図

b: 遺構

一溝一

第5層上面で検出した。長さ1.80m以上、幅0.25~0.42m、深さ0.04mを測る。埋土は淡橙茶灰色土で、遺物は瓦器の小片が出土した。遺物から中世期の遺構である。

(2) 06-3区 (第45・46・49・50図)

a. 調査の概要

調査区は貝掛遺跡の北部に位置する。調査区内に2.2m×1.2mのトレンチを設定した。調査面積は2.64m²である。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡褐灰色土、第4層暗黃灰色土、第5層マンガン・灰色土混じりの淡褐黃色土の地山である。遺物は第2層からチャート、須恵器、土師質土器、瓦器、染付磁器、近世瓦が、第4層から須恵器、土師質土器、瓦器、製塩土器が出土した。1は第4層出土の土師質土器の皿で、いわゆる白土器である。口縁部外面を強くヨコナデし、体部は指オサエ痕が顕著に残る。

遺構は第3層上面と地山面でそれぞれ溝を1条検出した。

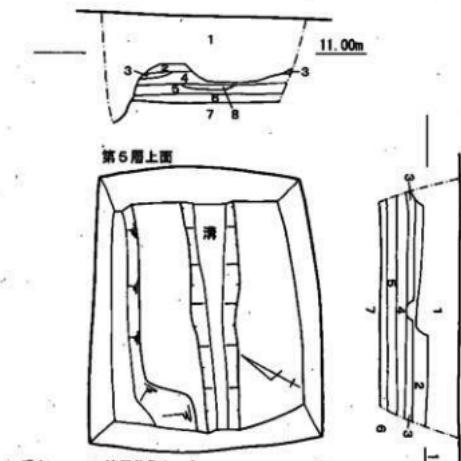
b. 遺構

一溝1

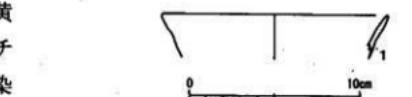
第3層上面で検出した。長さ1.70m以上、幅0.25~0.30m、深さ0.05mを測る。埋土は淡灰色土で、遺物は出土しなかった。時期は中世期以降であるが、詳細は明らかにできない。

一溝2

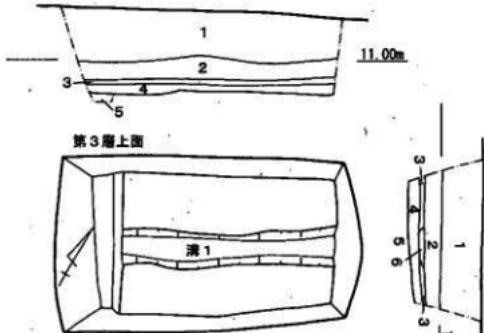
地山面でその一部を検出したに過ぎないが、長さ0.70m以上、深さ0.05m



第47図 貝掛遺跡06-2区 トレンチ平面図・断面図



第48図 貝掛遺跡06-2区 出土遺物



第49図 貝掛遺跡06-3区 トレンチ平面図・断面図

を測る。埋土は第4層と同じで、中世期の遺構と判断できるが、遺物の出土がなく、その詳細な時期は明らかにできない。

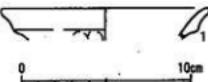
(3) 06-4区 (第45・46・51・52図)

a. 調査の概要

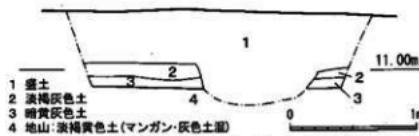
調査区は貝掛遺跡の北部に位置する。調査は調査区内に2.4m×1.6mのトレンチを設定し行なった。

基本層序は第1層盛土、第2層淡褐色土、第3層暗黃灰色土、第4層マンガン・灰色土混じりの淡褐色土の地山である。遺物は第2層から土師質土器、第3層から須恵器、土師質土器、黒色土器、製塙土器が出土した。1・2は土師質土器の小皿で第2層から出土した。3は製塙土器の口縁部で、奈良時代のものである。第3層から出土した。

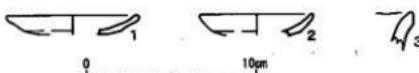
遺構は検出されなかった。



第50図 貝掛遺跡06-3区 出土遺物



第51図 貝掛遺跡06-4区 トレンチ西側断面図



第52図 貝掛遺跡06-4区 出土遺物

第8節 箱作今池遺跡

箱作今池遺跡は空港関連事業に伴う地域整備事業で、財団法人大阪府文化財調査研究センター(当時)が1993年度から3年間にかけて大規模な発掘調査を行い、本市でもその性格がわかる数少ない遺跡である。奈良時代の大形建物群を中心に、縄文時代から江戸時代までの遺物が出土している。

(1) 06-1区 (第53~56図)

a. 調査の概要

調査区は箱作今池遺跡の北部に位置する。周辺における既往の調査では、中世期の遺物などが確認されている。調査は対象地内の北隅に2.3m×1.3mのトレンチを設定し実施した。

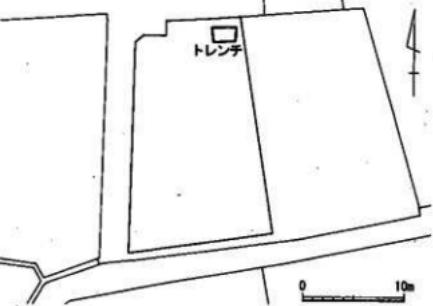
基本層序は第1層盛土、第2層暗灰色土、第3層黄茶色土、第4層茶灰色土、第5層マンガン混じりの茶色土、第6層黄褐色粘土の地山である。

遺物は第2層から近代期の陶器など、第3層から近世期の陶器、磁器など、第4層から土師質土器、瓦器、瓦など、第5層から須恵器、土師質土器、瓦などが出土した。第4・5層は中世期の包含層と思われる。1は陶器で鍋の蓋と思われる。2は陶器碗。3は土師質管状土錐で、以上は第2層から出土した。4は第4層から出土した丸瓦。5・6は第5層出土で、それぞれ平瓦、須恵器の杯蓋のつまみ部である。

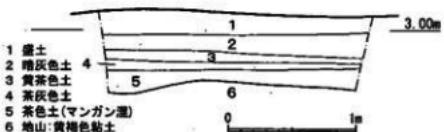
遺構は検出されなかった。



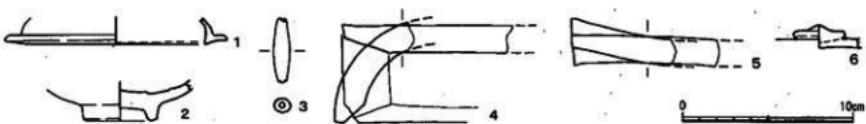
第53図 箱作今池遺跡調査区位置図



第54図 箱作今池遺跡06-1区 トレンチ位置図



第55図 箱作今池遺跡06-1区 トレンチ南側断面図



第56図 箱作今池遺跡06-1区 出土遺物

第9節 箱作西遺跡

本遺跡は1997年度に行なった発掘調査で発見、周知された。中世期の瓦類が出土していることから、寺院の存在も考えられるが、その後の調査でも中世期の落ち込みを検出したのみで、詳細は不明である。

(1) 06-1区 (第57~59図)

a. 調査の概要

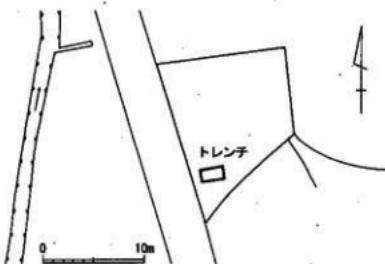
調査区は箱作西遺跡の西部に位置する。調査は調査区内に $2.2\text{m} \times 1.2\text{m}$ のトレンチを設置し行なった。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層褐色土、第4層マンガン混じりの黄茶灰色砂質土、第5層明黄灰色粘土の地山である。遺物は第4層から瓦器が出土した。

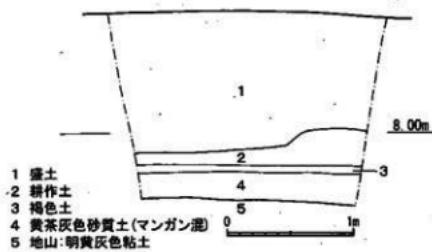
遺構は検出されなかった。



第57図 箱作西遺跡調査区位置図



第58図 箱作西遺跡06-1区 トレンチ位置図



第59図 箱作西遺跡06-1区 トレンチ南側断面図



第60図 田山東遺跡・田山遺跡調査区位置図

第10節 田山東遺跡

1988年度に本市が行った埋蔵文化財分布調査により周知された遺跡である。1991年の調査では土錐、蛸壺などの漁労関係遺物や輸入陶磁器などが多数出土している。

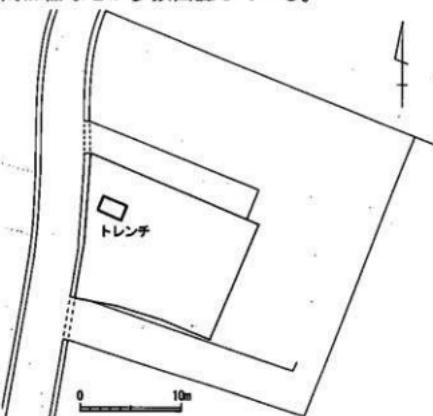
(1) 06-1区 (第60~62図)

a. 調査の概要

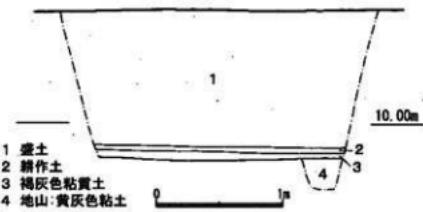
調査区は田山東遺跡のほぼ中央部に位置する。調査は対象地内の西隅に $2.5\text{m} \times 1.6\text{m}$ のトレンチを1ヵ所設定して実施した。

盛土、耕作土以下の基本層序は第3層褐色粘質土、第4層黄灰色粘土の地山である。遺物は第3層から須恵器、土師質土器、瓦器が出土したが、いずれも小片のため図化し得なかった。

遺構は検出されなかつた。



第61図 田山東遺跡06-1区 トレンチ位置図



第62図 田山東遺跡06-1区 トレンチ南側断面図

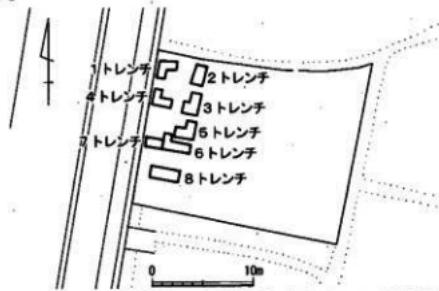
第11節 田山遺跡

田山遺跡は1977年3月に大阪府教育委員会より刊行された『大阪府文化財分布図』に記載されている遺跡である。1980年から3ヶ年にわたり財団法人大阪文化財センター(当時)が大規模な発掘調査を行っている。その調査では縄文時代から近世期にいたる遺物が出土しているほか、奈良時代中頃の製塩に関係すると思われる集落跡や中世期の蛸壺、瓦などを焼いていたと思われる遺構を検出している。

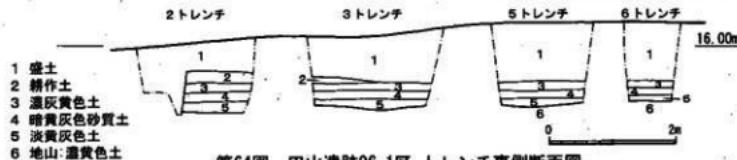
(1) 06-1区 (第60・63~65図)

a. 調査の概要

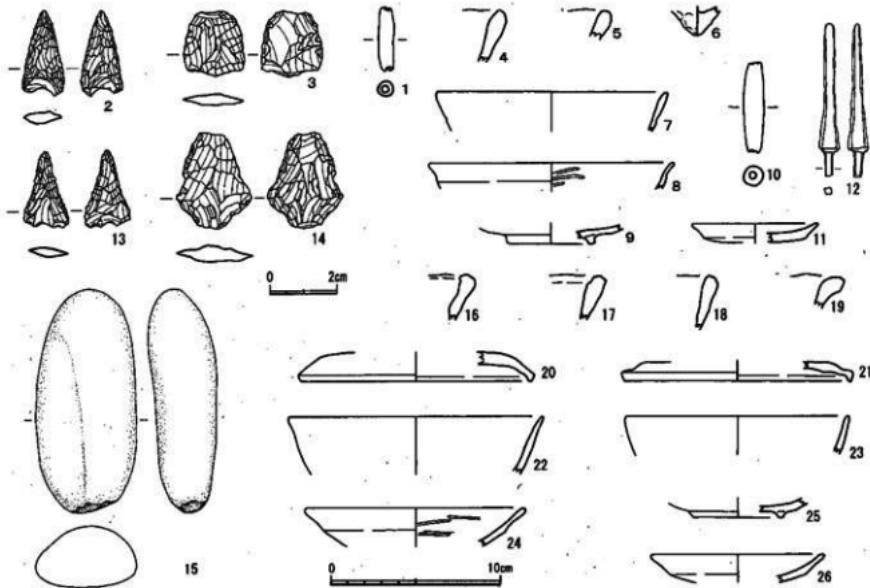
調査区は田山遺跡の中央部に位置する。本調査地は1987年度にも調査を実施しており、その調査では土坑を2基検出し、遺物は石鏃、土師器、須恵器、土師質土器、瓦器、青磁などが出土した。



第63図 田山遺跡06-1区 トレンチ位置図



第64図 田山遺跡06-1区 トレンチ東側断面図



第65図 田山遺跡06-1区 出土遺物

今回の調査は工事による掘削で、影響を受ける部分8ヶ所にトレンチを設定し行なった。基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層濃灰黄色土、第4層暗黄灰色砂質土、第5層淡黄灰色土、第6層濃黄色土の地山である。第2層は部分的に残る。遺物は各層から石器、須恵器などの他、中世土器が出土した。それに加え、第3層からは近世陶器、近世瓦が出土している。図化できたのは以下のとおりである。1は土師質管状土錐で、第3層から出土した。2・3はサヌカイト製石錐、4～6は製塩土器、7は須恵器杯身、8・9は瓦器椀、10は土師質管状土錐、11は土師質小皿、12は鉄錐で、第4層から出土した。13・14はサヌカイト製石錐、15は和泉砂岩製の敲石、16～19は製塩土器、20～23は須恵器で、20・21は杯蓋、22・23は杯身、24～26は瓦器で、24・25は椀、26は皿で、第5層から出土した。

遺構は検出されなかった。

(2) 06-2区 (第60・66～68図)

a. 調査の概要

調査区は田山遺跡の北部に位置する。調査は調査区内に2.4m×1.3mのトレンチを設定し行なった。

基本層序は第1層耕作土、第2層灰色砂混シルト、第3層マンガン混じりの黄灰色砂混シルト、第4層マンガン混じりの黄灰色粘質土、第5層風化礫・マンガン混じりの黄色砂混粘質土の地山である。遺物は第2層から須恵器、土師質土器、陶器、第3層から須恵器、土師質土器、土師質蛸壺、第4層から須恵器、土師質土器が出土した。

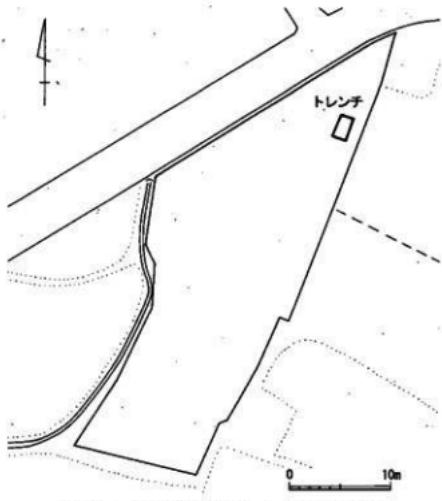
1は土師質真蛸壺でヘラ記号が見られる。第3層から出土した。

遺構は溝を1条検出した。

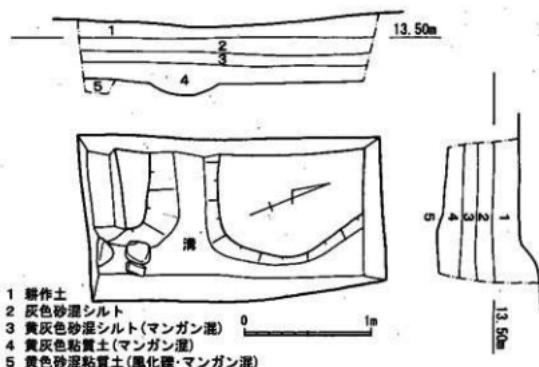
b. 遺構

一溝一

地山面で検出したT字状の溝で、南北方向に流れるものは長さ2.00m以上、幅0.50m以上、深さ0.05mを測り、東西方向に流れるものは長さ1.00m以上、幅0.50m、深さ0.10mを測る。

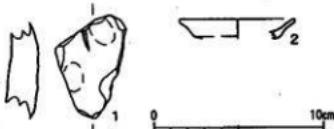


第66図 田山遺跡06-2区 トレンチ位置図



第67図 田山遺跡06-2区 トレンチ平面図・断面図

埋土は第4層と同じである。遺物は須恵器、土師質土器、瓦器が出土した。2は土師質小皿である。



第68図 田山遺跡06-2区 出土遺物

第2章 まとめ

以上、2006年中に実施した調査の概要について報告を行った。調査が個人住宅などの小規模な工事に伴うものであり、「点」としてのみの成果となった。このうち、遺物が比較的まとまって出土した調査区について、既往の調査結果を含めて若干の記述を行い、まとめとしたい。

まず、田山遺跡06-1区の状況であるが、本文中に記したように、1980年に当時の財団法人大阪文化財センターの調査により、奈良時代の集落跡が検出され、縄文時代以降の蛸壺などの漁労関係遺物、製塩土器、舶載陶磁器などが出土している。今回の調査でもこれらと同様の遺物が確認されている。漁労関係集落としての田山遺跡の性格を示す成果といえよう。また、石鏃が4点出土しているが、これについても財団法人大阪文化財センター(当時)の調査と同じく、土器の出土が伴わず、この時期における生活跡の所在が課題となっている。

次に、馬川北遺跡05-1区では、弥生時代から中世期までの連綿とした遺物が確認された。本文中でも記述したように、調査区は男里川の段丘下にあり、中世期以前は、低湿地であったと想定されている。今回の調査においても、既往の調査で縦横に検出されていた黒色を呈する層を埋土とする流路の存在が確認され、弥生時代以降古代期までの遺物が検出された。中世期を境に耕地化が進められ、今回の調査でも安定した土壤に瓦器、白土器などの混入が認められた。

この段丘下の西よりの付近で、隣接する尾崎清水遺跡、馬川遺跡でそれぞれ6世紀初頭と同前半の竪穴式住居が確認されている。これらのことから、中世期以前は生活拠点を段丘下においていたが、男里川の安定化とともに耕地化され、生活拠点が段丘上に移されたと考えられている。段丘上にある現在の集落は、集落内での発掘調査によって中世期に端を発すると想定されていることからも、これらのことを見付けることとなっている。

なお、この馬川北遺跡、北に隣接する尾崎清水遺跡、南に抜がる馬川遺跡の東部分は、発見の契機の都合により、別の遺跡として周知されているが、いずれも同様の様相を見せることから、同じ遺跡として捉えなおす必要があると思われる。今後、関係機関との協議などを行っていきたい。

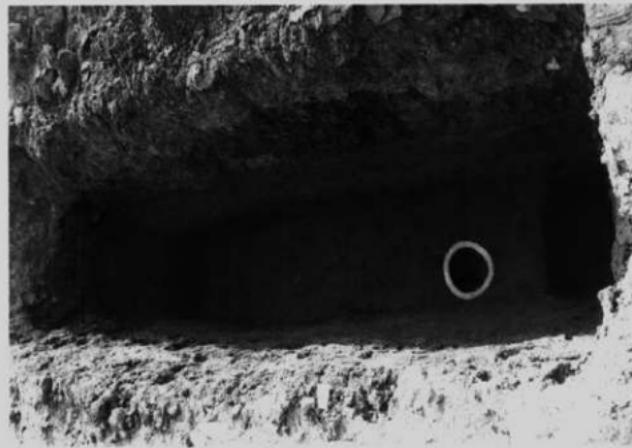
報告書抄録

ふりがな	はんなんしまいぞうぶんかざいはくつちょうさがいよう							
書名	阪南市埋蔵文化財発掘調査概要 X XIII							
副書名								
卷次								
シリーズ名	阪南市埋蔵文化財報告							
シリーズ番号	40							
編著者名	三好義三・田中早苗・上野仁・横澤恵							
編集機関	阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課							
所在地	〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 072-471-5678							
発行年月日	2007年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査 原因
		市町村番号	遺跡番号	°	'			
おざきかいがん 尾崎海岸	はんなんしおざきちょう 阪南市尾崎町	27232	65	34 21 42	135 14 33	20060328-29	3.10	住宅
うまがわきた 馬川北	はんなんしょくいで 阪南市下出	27232	61	34 21 30	135 14 57	20060217~20	25.0	住宅
こしきつとり 西馬取	はんなんしきつとり 阪南市馬取	27232	56	34 20 50	135 14 00	20060323-24	3.50	住宅
こんこうじはずいけ 神光寺(蓮池)	はんなんしじだ 阪南市石田	27232	20	34 21 52	135 14 29	20060310~13	3.20	住宅
同上	はんなんしつとり 阪南市鳥取	27232	20	34 21 52	135 14 29	20060324~27	13.00	農用地
同上	はんなんしじだ 阪南市石田	27232	20	34 21 52	135 14 29	20060412-13	2.60	住宅
同上	同上	27232	20	34 21 52	135 14 29	20060524~25	4.00	住宅
同上	同上	27232	20	34 21 52	135 14 29	20060629~30	2.86	住宅
同上	同上	27232	20	34 21 52	135 14 29	20060703~04	3.08	住宅
同上	はんなんしんまち 阪南市新町	27232	20	34 21 52	135 14 29	20060807~08	3.60	住宅
同上	はんなんしじだ 阪南市石田	27232	20	34 21 52	135 14 29	20060830~31	3.12	住宅
同上	同上	27232	20	34 21 52	135 14 29	20060912~13	4.00	住宅
同上	同上	27232	20	34 21 52	135 14 29	20060929~1002	2.64	住宅
同上	同上	27232	20	34 21 52	135 14 29	20061201~04	3.90	住宅
じねんじねんだ 自然田	はんなんじじねんだ 阪南市自然田	27232	35	34 20 50	135 14 00	20060714~31	110.0	菜園
にしひ煙	同上	27232	49	34 21 01	135 14 20	20061013~16	4.20	住宅
かいかけ掛	はんなんしきかけ 阪南市貝掛	27232	19	34 21 01	135 14 20	20060828~29	3.20	住宅
同上	同上	27232	19	34 21 52	135 14 29	20060926~27	2.64	住宅
同上	同上	27232	19	34 21 52	135 14 29	20061129~30	3.80	住宅
はこくりいまい 箱作今池	はんなんしはこくり 阪南市箱作	27232	24	34 20 18	135 12 45	20060627~28	3.00	住宅
はこくりいにし 箱作西	同上	27232	63	34 20 50	135 14 00	20060530~31	2.64	住宅
たやまひがし 田山東	同上	27232	58	34 20 50	135 14 00	20061115~16	4.00	住宅
たやま山	同上	27232	22	34 20 08	135 12 24	20060417~21	20.00	住宅
同上	同上	27232	22	34 20 13	135 13 20	20060724~25	3.10	住宅

所 収 遺 跡 名	種 別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
尾 崎 海 岸	散 布 地	近世期	落 寂 込 み	土師質土器、陶器、磁器、近世瓦、古錢	
馬 川 北	同 上	中世期	ビ ッ ト、流 路	弥生土器、土師器、須恵器、土師質土器、須 恵質土器、瓦器、白磁、土師質土鍾、砾石	
西 鳥 取	同 上	不 明	な し	な し	
神 光 寺(蓮池)	同 上	中世～近世期	土 坑、流 路	瓦器、土師質土器、瓦質土器、陶器、磁 器、瓦、土師質土鍾	
同 上	同 上	中世期	鋤 溝	サヌカイト、須恵器、土師質土器、瓦器、 土師質蜻蛉	
同 上	同 上	中世～近世期	石 壇	瓦器、土師質土器、瓦質土器、陶器、瓦	
同 上	同 上	中世～近世期	暗渠、ビ ッ ト	黑色土器、瓦器、土師質土器、陶器、瓦	
同 上	同 上	中世期	な し	瓦器、土師質土器、瓦	
同 上	同 上	不 明	土 坑	土師質土器	
同 上	同 上	中世～近世期	な し	須恵器、土師質土器、瓦器、陶器、瓦	
同 上	同 上	中世期	溝、流 路	須恵器、黑色土器、瓦器、土師質土器、 青磁、陶器、製塙土器	
同 上	同 上	中世～近世期	ビ ッ ト	土師質土器、瓦器、スサ入り焼土塊	
同 上	同 上	中世期	溝	須恵器、瓦器、土師質土器	
同 上	同 上	中世期	な し	須恵器、瓦器、土師質土器、瓦質土器、瓦	
自 然 田	同 上	近世期	畦 状 遺 構	須恵器、土師質土器、瓦質土器、青磁、鉄釘	
西 煙	同 上	不 明	な し	な し	
貝 掛	同 上	中世期	溝	須恵器、土師質土器、瓦器	
同 上	同 上	中世期	溝	須恵器、土師質土器、瓦器、製塙土器	
同 上	同 上	中世期	な し	須恵器、黑色土器、土師質土器、製塙土器	
箱 作 今 池	同 上	中世～近世期	な し	須恵器、土師質土器、瓦器、陶器、磁器、瓦	
箱 作 西	同 上	不 明	な し	瓦器	
田 山 東	同 上	不 明	な し	須恵器、土師質土器、瓦器	
田 山	同 上	中世期	な し	サヌカイト、石器、須恵器、土師質土器、 瓦器、陶器、製塙土器、土師質土鍾、鉄器	
同 上	同 上	中世期	溝	須恵器、土師質土器、瓦器、土師質蜻蛉	



尾崎海岸遺跡05-2区
トレンチ全景(西より)



馬川北遺跡05-1区
1 トレンチ全景(北より)



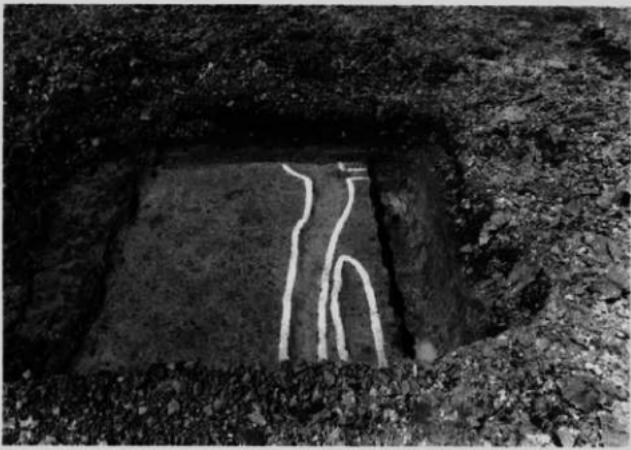
馬川北遺跡05-1区
8 トレンチ全景(南より)



西鳥取遺跡05-1区
トレンチ全景(南より)



神光寺(蓮池)遺跡05-15区
トレンチ全景(北より)



神光寺(蓮池)遺跡05-16区
3 トレンチ全景(南より)



神光寺(蓮池)遺跡05-16区
4 トレンチ全景(南より)



神光寺(蓮池)遺跡06-1区
トレンチ全景(西より)



神光寺(蓮池)遺跡06-1区
トレンチ南側断面



神光寺(蓮池)遺跡06-2区
暗渠(北より)



神光寺(蓮池)遺跡06-2区
ピット(南より)



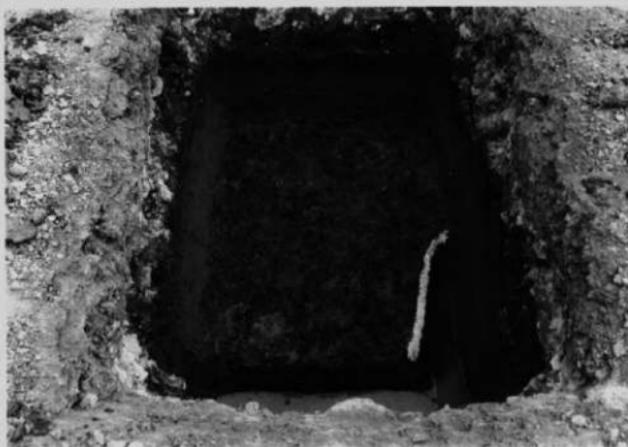
神光寺(蓮池)遺跡06-3区
トレンチ全景(北より)



神光寺(蓮池)遺跡06-4区
トレンチ全景(北より)



神光寺(蓮池)遺跡06-5区
トレンチ全景(西より)



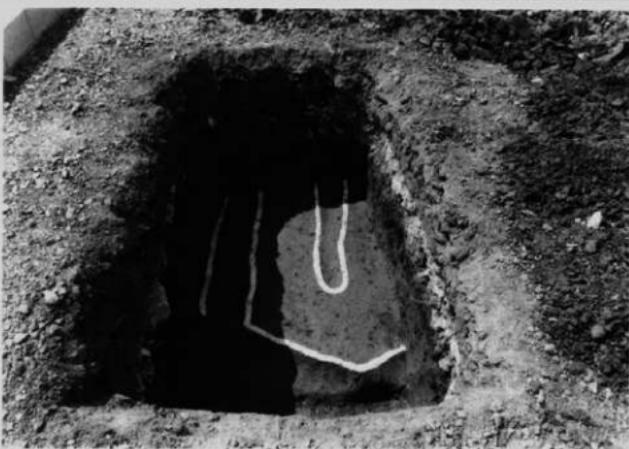
神光寺(蓮池)遺跡06-6区
溝2(北より)



神光寺(蓮池)遺跡06-6区
流路(南より)



神光寺(蓮池)遺跡06-8区
トレンチ全景(西より)



神光寺(蓮池)遺跡06-9区
トレンチ全景(東より)



神光寺(蓮池)遺跡06-11区
トレンチ全景(東より)



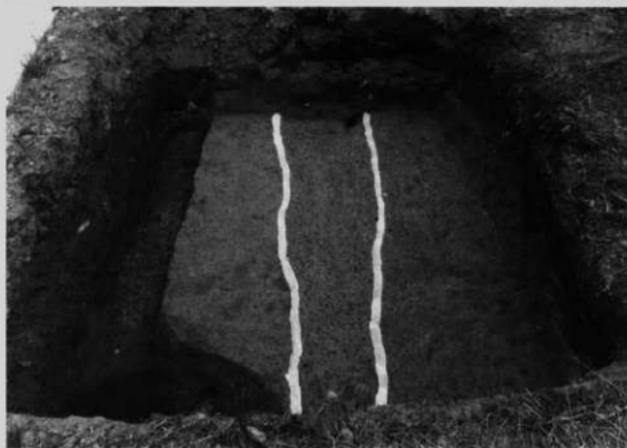
自然田遺跡06-5区
1 トレンチ畦状遺構(東より)



自然田遺跡06-5区
2 トレンチ東側断面



西畠遺跡06-1区
トレンチ全景(北より)



貝掛遺跡06-2区
トレンチ全景(西より)



貝掛遺跡06-3区
トレンチ全景(西より)



貝掛遺跡06-4区
トレンチ全景(北より)

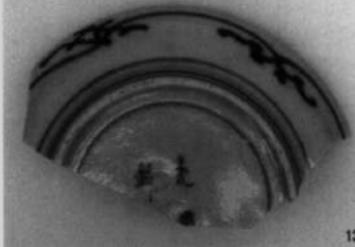
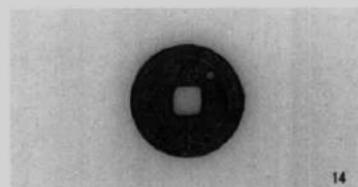
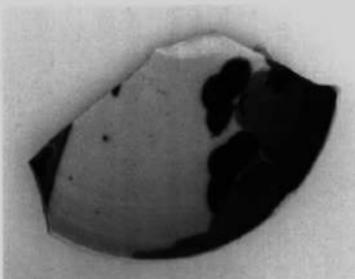
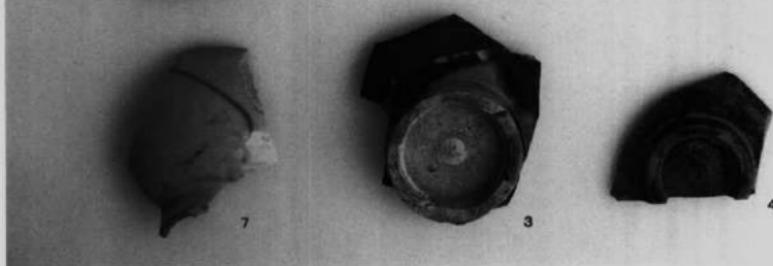
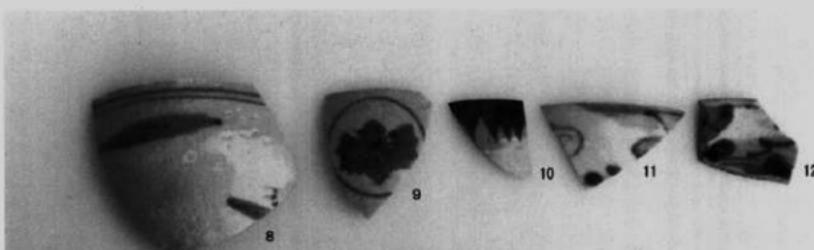


箱作今池遺跡06-1区
トレンチ全景(南より)

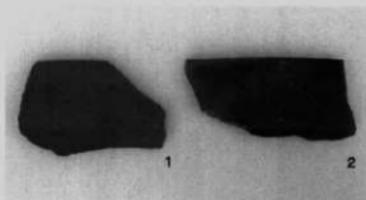


箱作西遺跡06-1区
トレンチ全景(東より)





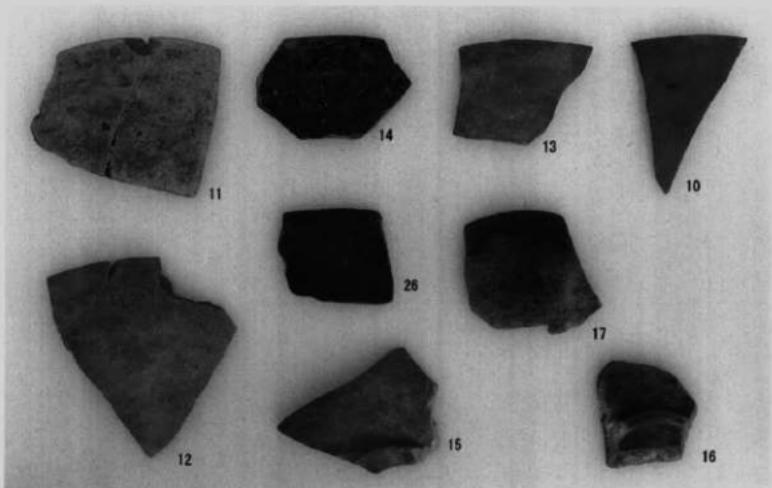
尾崎海岸遺跡05-2区 出土遺物



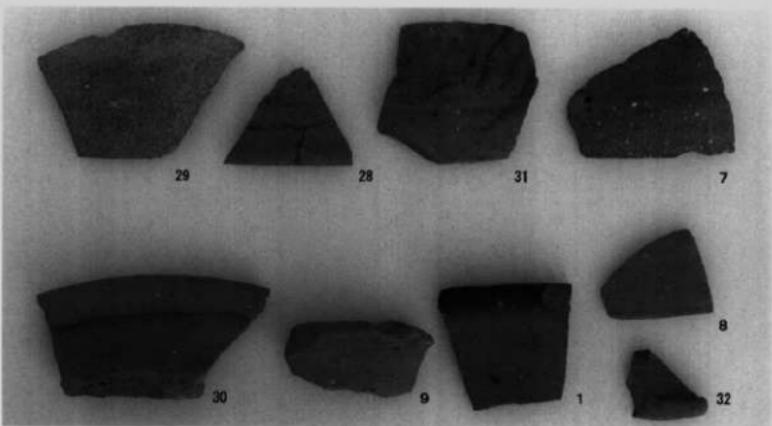
尾崎海岸遺跡05-2区 出土遺物



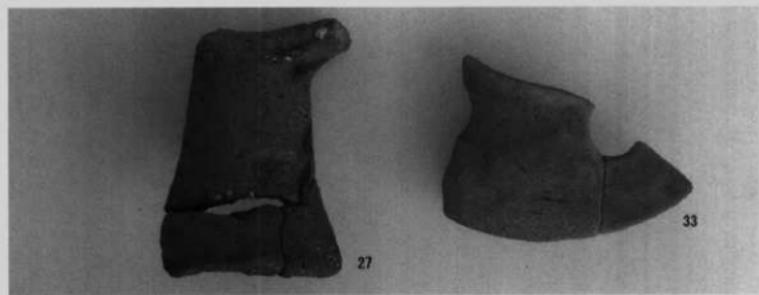
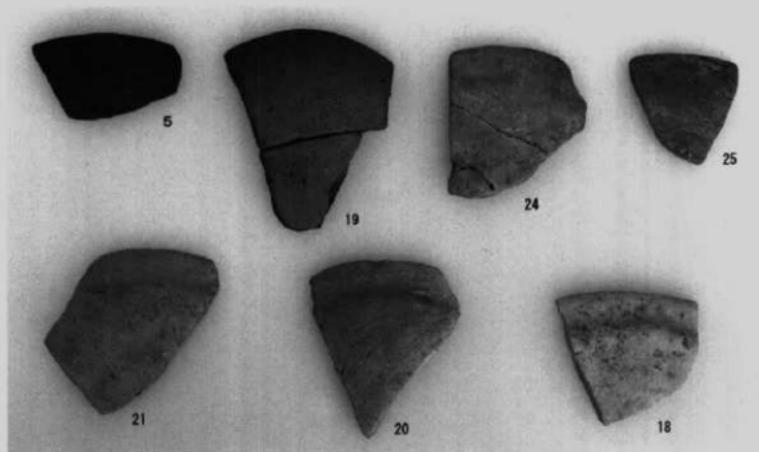
尾崎海岸遺跡05-2区 出土遺物



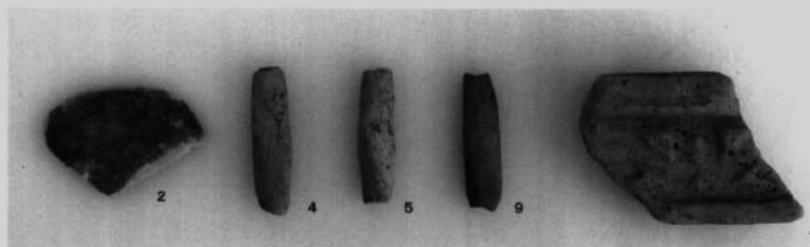
馬川北遺跡05-1区 出土遺物



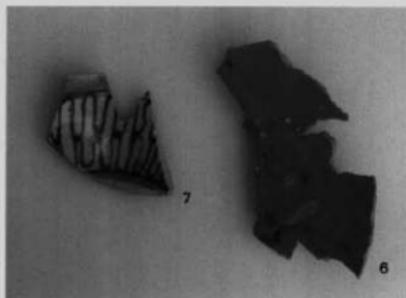
馬川北遺跡05-1区 出土遺物



馬川北遺跡05-1区 出土遺物



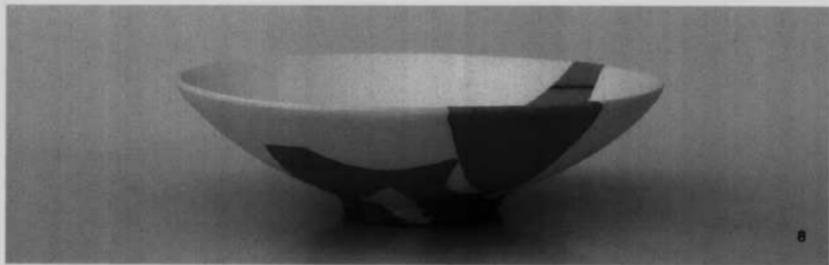
神光寺(蓮池)遺跡05-15区 出土遺物



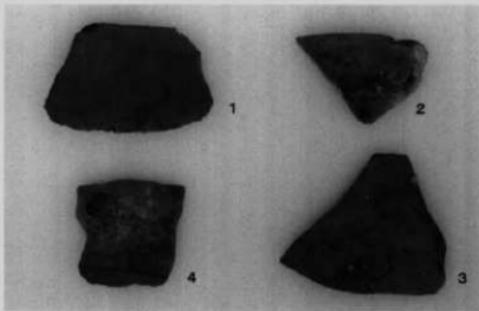
神光寺(蓮池)遺跡05-15区 出土遺物



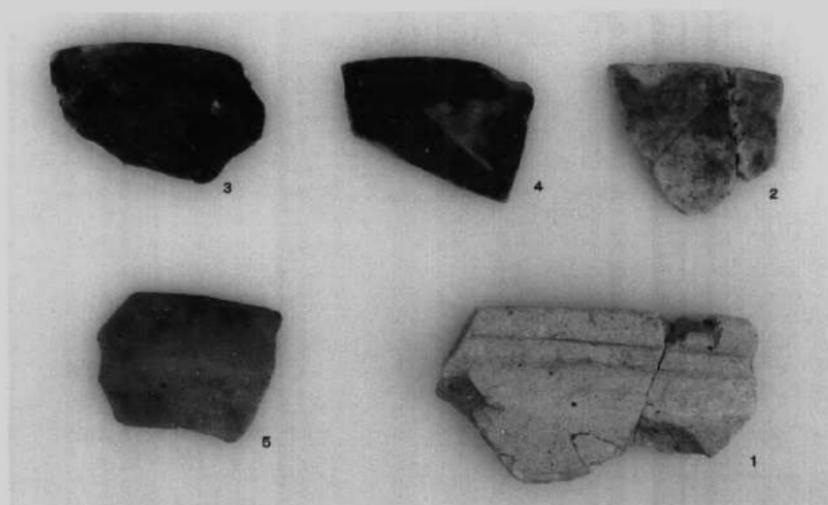
神光寺(蓮池)遺跡05-15区 出土遺物



神光寺(蓮池)遺跡05-15区 出土遺物



神光寺(蓮池)遺跡05-16区 出土遺物



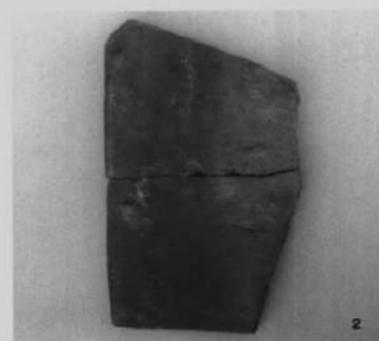
神光寺(蓮池)遺跡06-1区 出土遺物



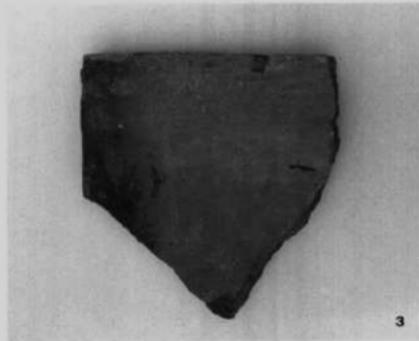
神光寺(蓮池)遺跡06-2区 出土遺物



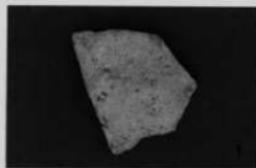
神光寺(蓮池)遺跡06-2区 出土遺物



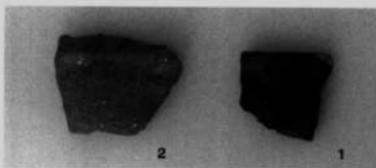
神光寺(蓮池)遺跡06-2区 出土遺物



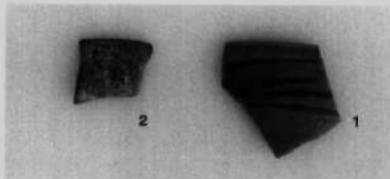
神光寺(蓮池)遺跡06-2区 出土遺物



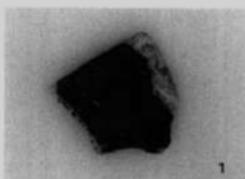
神光寺(蓮池)遺跡06-3区 出土遺物



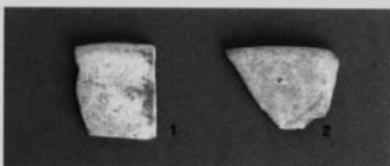
神光寺(蓮池)遺跡06-5区 出土遺物



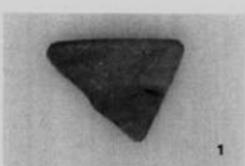
神光寺(蓮池)遺跡06-6区 出土遺物



神光寺(蓮池)遺跡06-8区 出土遺物



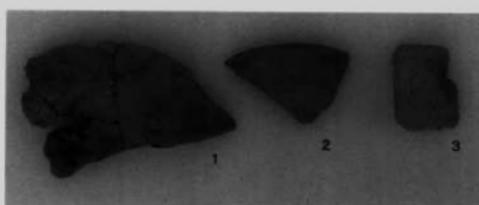
神光寺(蓮池)遺跡06-9区 出土遺物



貝掛遺跡06-2区 出土遺物



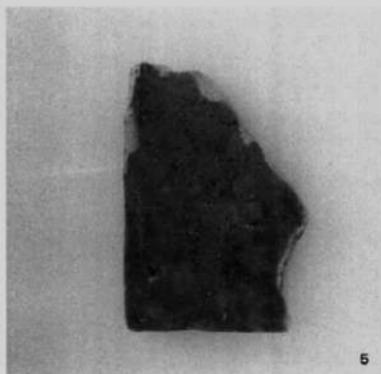
貝掛遺跡06-3区 出土遺物



貝掛遺跡06-4区 出土遺物



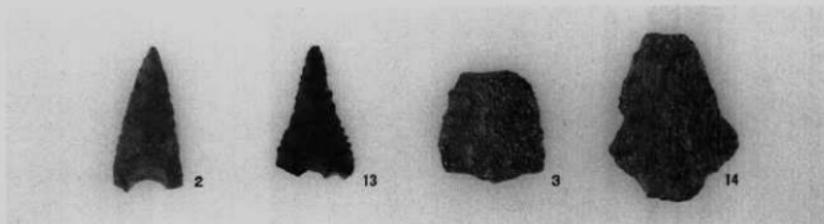
箱作今池遺跡06-1区 出土遺物



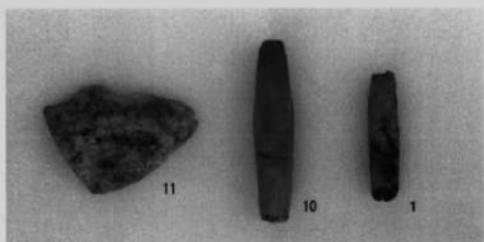
箱作今池遺跡06-1区 出土遺物



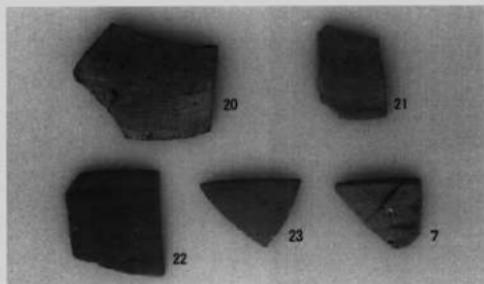
箱作今池遺跡06-1区 出土遺物



田山遺跡06-1区 出土遺物



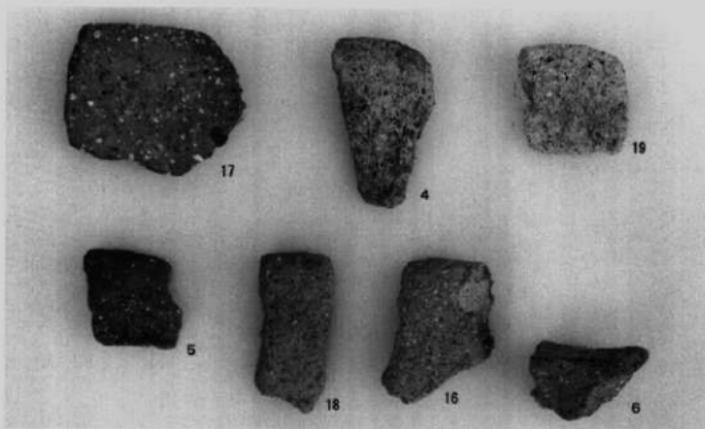
田山遺跡06-1区 出土遺物



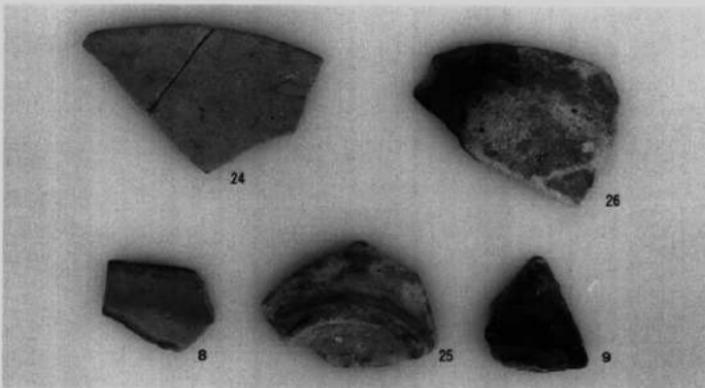
田山遺跡06-1区 出土遺物



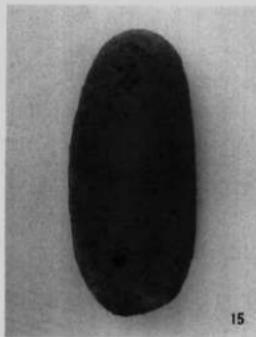
田山遺跡06-1区 出土遺物



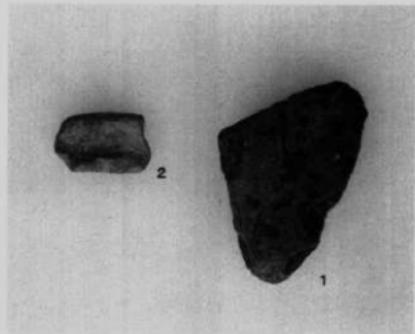
田山遺跡06-1区 出土遺物



田山遺跡06-1区 出土遺物



田山遺跡06-1区 出土遺物



田山遺跡06-2区 出土遺物

阪南市埋蔵文化財報告 40

阪南市埋蔵文化財発掘調査概要XXIII

2007年3月

発行：阪南市教育委員会生涯学習部
生涯学習推進課
大阪府阪南市尾崎町35の1
印刷者：三和印刷株式会社